

外食への支出

- 家計調査（二人以上の世帯・単身世帯）結果より -

5月のゴールデンウィークは、皆様どのように過ごされましたか。普段なかなか会えない御家族や御友人と大型連休を利用して集まり、外で食事をされた方も多いのではないのでしょうか。そこで今月は、外食^{注1}への支出についてみてみましょう。

注1 ここでは、外食から学校給食を除いたものを「外食」としています。

減少傾向にある外食への支出

最初に、外食の支出金額の推移を価格の変動分を除き、平成12年を100とした実質金額指数で見ると、二人以上の世帯、単身世帯共に減少傾向であることがわかります。特に、単身世帯で大きく減少しており、平成12年に比べ、23年は約3割減少しています（図1）。

8月の支出金額が最も多い

次に、外食の月別支出金額をみてみましょう。最も支出金額が多い月は8月の約1万5千円で、次いで12月、1月、5月となっています。夏休みや年末年始など連続した休日が多い月に外食への支出が増加する傾向があるとわかります（図2）。

和食の購入頻度が最も高い

最後に、家計簿への記入回数を表す購入頻度をみてみると、1世帯当たり年間69.7回外食への支出があります。その他^{注2}を除いた外食の内訳では、和食が10.3回と最も購入頻度が高くなっており、次いで喫茶代、洋食、ハンバーガーとなっています（図3）。

注2 「その他」は「他のめん類外食」及び「他の主食的外食」を合計したものです。

3 購入頻度は、表示単位に四捨五入してあるので、内訳の計は必ずしも合計に一致しません。

図1 平成12年から23年の外食の実質金額指数の推移
(平成12年 = 100)

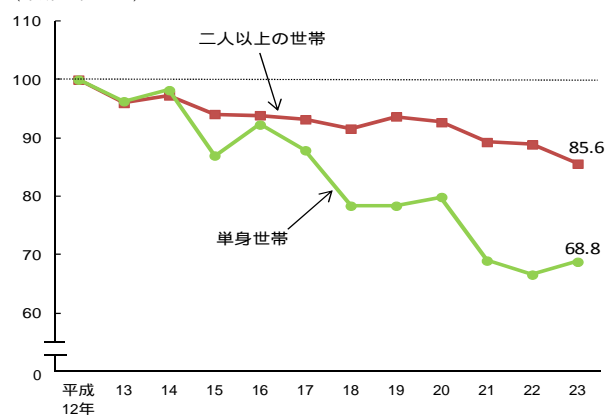


図2 外食の月別支出金額
(平成21~23年平均 二人以上の世帯)

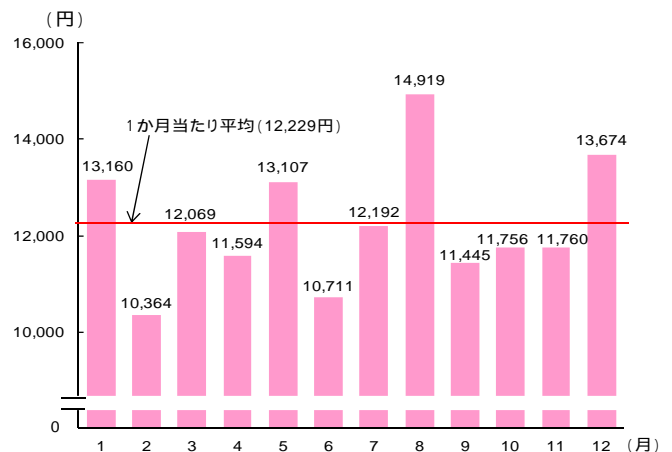


図3 外食の年間購入頻度の内訳^{注3}
(平成23年 二人以上の世帯)

